OS-7

【学術賞受賞者講演】

共に生きる・活きる暮らし

［優秀賞（社団法人 日本建築学会 関東支部）　「第11回 提案競技 「美しくまちをつくる、むらをつくる」 住んでみたい 行ってみたい 江東区・東京湾岸のまちづくり」　平成21年11月14日 ］

日大生産工　○川岸 梅和
日大生産工　　北野 幸樹

１．はじめに

「第11回提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」 住んでみたい 行ってみたい 江東区･東京湾岸のまちづくり」（主催：社団法人 日本建築学会 関東支部、後援：江東区、日本建築家協会、東京建築士会、東京都建築士事務所協会）は、デザインの持つ力、重要性を社会に対して示す場を設けようとするもので、建築･都市デザイナー、建築家、建築士、学生を対象にした美しいまちづくり･むらづくりのデザインコンペティションを内容とした、日本建築学会関東支部継続事業である。

今回のテーマは、「住んでみたい 行ってみたい 江東区･東京湾岸のまちづくり」である。江東区では、平成10年に作成された「江東区都市計画マスタープラン」を見直し、概ね20年後の江東区のまちづくりの指針として新たな都市計画マスタープランへの改訂作業が進行しており、今後の江東区のまちづくりに参考になるような具体的かつ説得力のある提案が求め、江東区からの要望も踏まえ推奨対象候補地区は、豊洲・潮見・塩浜・枝川・東雲・新木場・辰巳の7地区が選定された。

これらの地区は、旧来の住工混在地区と新しい開発地区とが共存する中で様々な都市問題も顕在化しており、今後どのように変わることが望ましいのか。どのような整備・開発方針が求められるのか等、具体的地区を設定して新しい江東区の将来像のデザインが求められた。運河、河川、水辺、親水性、散策、コミュニティ、防災、緑地、自然、歴史的遺産等、様々なキーワードから、江東区では多元的な地域の価値を醸成していく必要が生じており、多くの人々がそこに住んでみたいと感じるような、そしてそこへ行ってみたいと思うような、景観的にも美しいまちづくりの提案が期待された。

２．審査経過・結果

本提案競技の応募作品数は25作品であり、第1次審査により13作品が選出され、第2次審査の議論を経て最終投票が行われ、最優秀賞、優秀賞、江東区長賞が決定された。

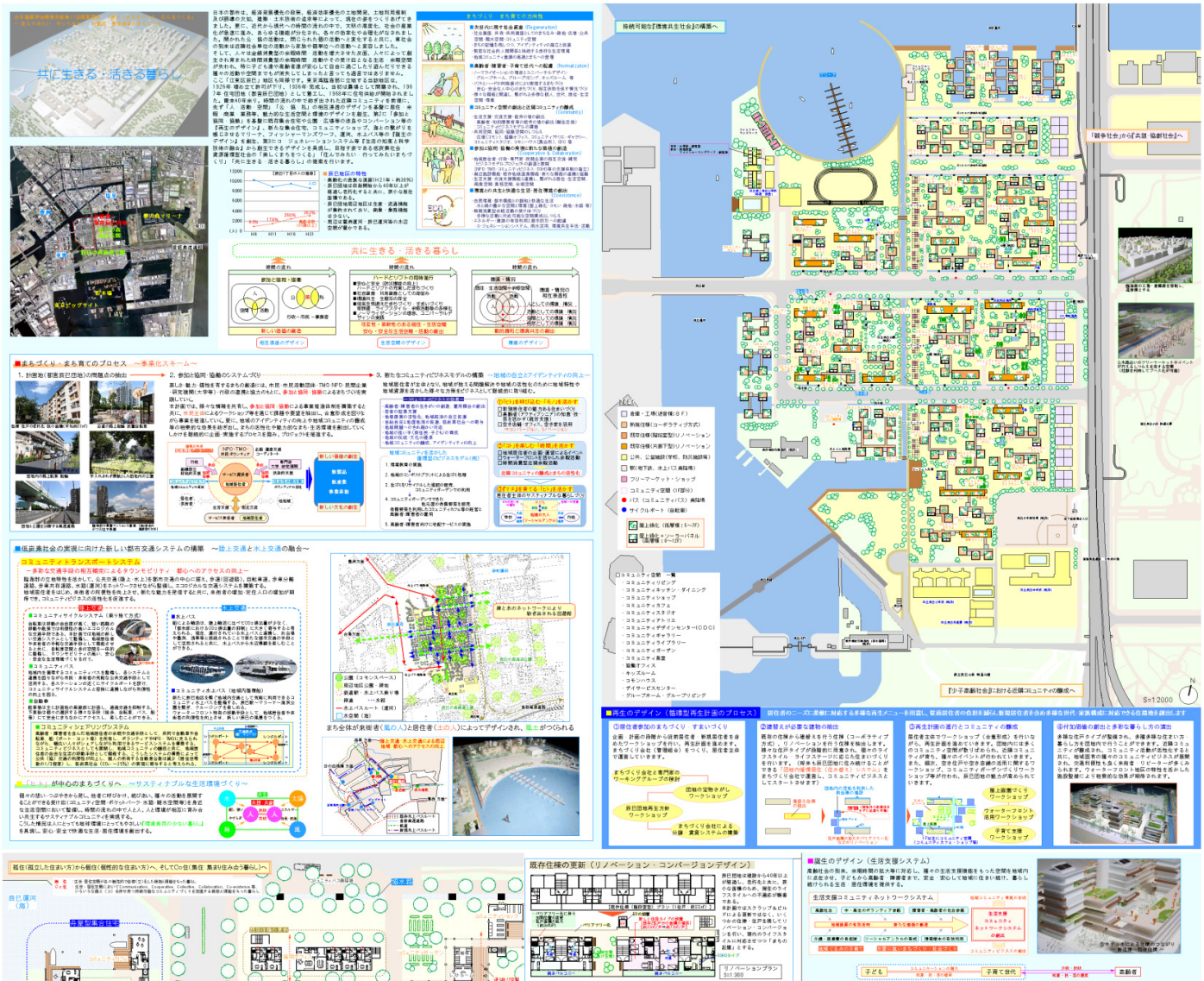
これらの受賞作品は、いずれも奇抜さや派手さといった小手先のテクニックに陥ることなく、作品個々の持つストーリー性や江東区ならではの地域性といった当地区にまちづくりとして極めて相応しい提案内容であった。また、受賞作品の共通した提案内容として、「水彩（ウォーターフロント）都市江東」を象徴する水域・水辺の有効活用策をはじめ、再開発候補地として緊急性の高い地区の改善策、海を活用した都市環境問題解決策など、現在の江東区が必要とするであろう重要なまちづくりが提案されている。

３．作品講評

「共に生きる・活きる暮らし」は、江東区において、現在あるいは今後求められるであろう都市の諸機能を抽出し、そのあるべき姿を具体的に提案した内容がリアリティの高さという点で目を引いた。また、マリーナをはじめウォーターフロントならではの施設提案がなされたことは、「水彩都市江東区」らしい地域性を創出するという点で評価につながったと言える。特に、水陸をまたぐ“舟屋型建築”は、陸でもあり水域でもあるという水・陸の両義的空間を形成し、そのユニークな視点が高く評価できる。また、大胆に切り開いた円形の静穏水域（マリーナ）は、ウォーターフロント特有の大スケールに負けない骨太の空間（地域の骨格）を創出し、当該地区の目玉として十分なアピール性を有している。「まち」としての諸要素間のつながりや空間相互の有機的連携に関して、より積極的な検討が加われば、さらに高い評価が期待される。

参考文献

第11回提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」募集要項･結果報告 http://news-sv.aij.or.jp/kanto/（2009）


共に生きる・活きる暮らし
持続可能な「環境共生社会」の構築へ
「競争社会」から「共創・協創社会」へ
まちづくり・まち育てのプロセス ～事業化スキーム～
低炭素社会の実現に向けた新しい都市交通システムの構築 ～陸上交通と水上交通の融合～
コミュニティトランスポートシステム
まちづくり会社による分譲・賃貸システムの構築
まち全体が氣候者(風の人)と歴住者(土の人)によってデザインされ、風土がつくられる
既存(孤立した住まい方)から個住(個性的な住まい方)へ、そしてCo住(集住・集対住み合う暮らし)へ
既存住棟の更新（リノベーション・コンバージョンデザイン）
コーポラティブ方式による建替え
コーポラティブ方式により始まれる生活・歴住環境づくりのメリット
誕生のデザイン（生活支援システム）
誕生のデザイン（交流支援システム・ビジネス支援システム）
人・自然・科学技術が共生する安全で安心な暮らし
コーポラティブ方式による建替え住棟（新住棟）
誕生のデザイン（環境共生手法・活動システム）
新住棟・既存住棟～マリーナ～フリーマーケット
マリーナ～小学校～住棟
舟屋型集合住宅　一住居と水のつながり
「水上交通」の構築